

MEDTRONIC TALENT腹部ステントグラフトシステム 操作上のチェックポイント

操作

1. 適応に則った症例選択およびケースプランニング
2. CT 読影とステントグラフトの正確なサイジング
3. アクセスルートの選択と確認
4. 分岐型メインボディの準備(ガイドワイヤールーメンのフラッシュ)
5. グリップ上のマーカーと対側ショートリム(ゲート)不透過性 ∞ マーカーの位置を透視下で確認
6. 腎動脈の位置確認(C-ARMを操作し、RAO/LAO/Cranial 視差調整) および造影
7. 分岐型メインボディの2つ目のスプリングまで展開し、透視下で再度位置確認
8. 必要に応じて引き戻し、分岐型メインボディの留置位置の微調整
9. メインボディ対側ショートリムまで展開 操作及び位置確認
10. 同側リムの展開
11. 対側リムへのカニューレーション(適切なカテの選択、操作)
12. カニューレーションの確認の有無(カテの回転による確認作業)
13. 内腸骨動脈の造影と対側リム(レッグ)の選択
14. 対側レッグのCONNECTING・バー上不透過性 ∞ マーカーの方向性を確認
15. 対側リム挿入時の準備及びガイドワイヤー交換
16. 内腸骨動脈の位置の確認
17. 対側リム(レッグ)の位置合わせ(オーバーラップ ∞ マーカーと対側リム末梢 ∞ マーカー位置確認)
18. 対側リム(レッグ)の留置
19. メインボディ、次に対側リムのデリバリーシステムを抜去
20. 中枢側ネック、接合部と末梢側固定部のタッチアップバルーン
21. 最終確認造影(問題の有無の確認)
22. 追加デバイスの選択の判断、追加デバイスの操作上の確認・注意事項の配慮
23. 体内に残されている併用デバイスを抜去し、動脈切開部位を縫合